

社会福祉法人新栄会 オルト保育園

令和6年度 東京都すくわくプログラム
みず2歳



概要

ねらい

環境構成・スケジュール

子どもの様子

振り返り

保護者への共有

The background features a light blue gradient with various 3D-rendered spheres and abstract, organic shapes in shades of blue and purple. The spheres vary in size and are scattered across the frame. A large, prominent sphere is located at the top center, partially overlapping the text. Other smaller spheres are visible in the corners and along the bottom edge. The overall aesthetic is clean, modern, and minimalist.

テーマ 「感触」

ねらい

絵具や水などに触れて遊ぶ中で、ダイナミックに全身で感触を楽しんだり、慎重になったり、じっくりと触れるなど、素材や子どもによって姿が違うので、様々な素材で楽しんでいきたい



環境構成・スケジュール



環境構成

片栗粉、小麦粉、寒天、砂、スライム

室内、室外どちらでも子どもが遊べるようにブルーシートやたらいに素材を入れ環境を設定した。

スケジュール

6-7月 片栗粉遊び 寒天遊び

7-8月 スライム 泡遊び

10-12月 砂遊び

12-2月 パン作り 小麦粉粘土遊び



子どもの様子

- 片栗粉、寒天、砂など様々な素材に手や足で触れながら感触の違いや不思議さを楽しんだり、見立て遊びに変化したりしていた。
- 同じ素材でも色をつけたり、机上や床など提供の方法を変えたりして、繰り返し遊びながら素材への興味や理解を深められるようにした。



- 積極的に素材に触れて驚きや発見を楽しむ子もいれば、直接触れることに苦手意識を持つ子もいた。それぞれの気持ちを受け止め、援助したり遊び方によって空間を分けたりして無理なく楽しめるようにしていった。
- 「プルプルしてる」「つめたい」など素材に触れて感じたことを伝え、友だちや保育士とのやりとりを楽しんでいた。キネティックサンドで遊んでいた際に、「パン屋さんです」「焼きたてです」といった子ども同士のやりとりからパン作りに発展していった。



振り返り

子どもの発達段階や遊びの様子から、保育士が環境を整えたり、関わりを促し、一緒に遊び関わりながら、共に驚いたり、楽しさを共有することで、より遊びが深まり、広がることに気付いた。保育士が関わるタイミングと、子どもだけで集中して遊ぶことの見極めが大切だと改めて感じた。



保護者との共有

令和7年2月にオルト展にて掲示

活動の際にドキュメンテーションで掲示





ありがとうございました。